

同窓会に向き合う時間をとってくださったあなたへ

イベントを初めて開催する方も、何度も経験している方も、

どなたにとっても、イベントの企画・運営は

時に難しく、時に大きなやりがいを感じるものです。

CRAZY CELEBRATION AGENCY から

8つの質問をギフトさせていただきます。

時間をかけて作ったイベントをより良い機会にするためには

イベントのスタート地点と、プロセスがとても大切だと考えています。

この質問に答える時間が、理想の景色に近づくプロセスになりますように。

**CRAZY
CELEBRATION
AGENCY**

8つの質問

1

同窓会のリーダーはどなたですか？

2

それぞれ（下記）の仕事を任せられる方はいますか？

①会場選定・渉外 ②コンテンツ考案・スケジュール作成 ③お客様連絡窓口 ④資料作成・物品手配 ⑤当日運営責任者 ⑥予算管理

3

同窓会を実施するきっかけは何ですか？

4

同窓会をどんな機会にしたいですか？ 例：先生に感謝を伝えたい、改めて同級生の絆を深め直したいなど

5

同窓会の中で、どんな時間を多く設けたいですか？ 例：自由に話せる時間を多めにしたい、みんなで笑える時間など

6

実施したいプログラムは何ですか？またそれはなぜ実施したいですか？ 背景・意図を改めて考えてみてください。

7

参加者の年齢・環境などを鑑みてどのような時間帯・場所だと集まりやすそうでしょうか？

8

今後も継続開催を想定されていますか？ その場合は、同窓生の連絡先を管理できるようにしておきましょう

質問の意図

1

スムーズなイベント制作進行において、意思決定者を明確にすることは重要です。
多くの人に関わるイベントでは、多くの意見が出ます。後からどんでん返しを起こさないためにも、リーダーを最初に決めておきましょう。

2

イベントを一人で作りあげるのは至難の業です。どんなシンプルなイベントも一人で取り組まず、まずは仲間を集めましょう。
幹事様の仕事は、様々な役割の人々を取りまとめることが望ましいです。仲間と迎えるイベント当日はきっとかけがえのない一日になるでしょう。

3

改めて言語化することで、参加者の招待時に、実施背景を伝えることができます。参加率の向上においてとても重要です。

4

同窓会といっても、様々な種類があります。どんな会にしたいかを、予め企画メンバーで話しておけると意思疎通がスムーズです。

5

当日の雰囲気具体的なイメージを深めていくことで、自ずと当日のコンテンツやタイムスケジュールが見えてきます。

6

達成したいことから逆算して、当日のプログラムを考えてみましょう。
なかなか思いつかない時は、同窓会で大切にしたいことをキーワードにするステップを設けると考えやすいです。(例：思い出・笑い・未来など)

7

集客はイベントの実施において最も重要です。予め、ゲストの参加率を想定してイベントを進めましょう。

8

集めた情報は後々の財産になります。Google スプレッドシート、エクセルなどがオススメです。